

『いちよう会』だより(第13号)

会長再任にあたって

会長 江原和人

この2年間、会員の皆さまの暖かいご支援とご協力により、「いちよう会」事業計画を恙なく実施し、運営することができたことに心から感謝申し上げます。女性会員も少しずつ増え、昨年秋の旅行には過去最高4名の女性会員が参加されました。引き続きこれからの2年間、どうぞよろしく願いいたします。

今季は例年になく暖冬で、3月中旬にはサクラが満開を迎えました。2月中旬からの新型コロナウイルスの感染が中国本土から世界各国に伝播し、国内においても感染防止策の強化により、花見の宴会やイベント開催の自粛が余儀なくされました。

新型コロナウイルスの警鐘については、2018年に米ジョンズ・ホプキンス大学が「パンデミック病原体の特徴」というタイトルの報告書の中で「呼吸器系感染ウイルスで、症状が軽いのに感染力があるものが危ない。コロナウイルスなどに注意を」と呼びかけていた。

インフルエンザウイルス以外の「生存戦略として非常に賢い」新型コロナウイルスなどの呼吸器系感染症対策を、投資の魅力を度外視してWHOはじめ官民一体となって積極的に取り組んでいく必要があります。新型コロナウイルス感染の治療薬やワクチン開発が急務です。米国では、NIH主導でワクチンの臨床試験がスタートし、ジョンソン・エンド・ジョンソンが英国ではオクスフォード大研究チームが、日本では阪大発バイオ企業が、早期のワクチンの実用化を目指しています。

さて、この2月の三役会で、新型コロナウイルス感染の広がりを受けて、誠に残念ではありますが、「夜桜を観る会」をはじめとして今年の行事・会議の中止・延期を決めました。新型コロナウイルス感染が1日も早く収束し、行事等の再開ができ、皆さまとお会いできることを楽しみにしています。その時には大いに笑ったり、話をしたり、楽しく歓談しましょう！会員の皆さまにおかれましては、どうぞ体調に十分お気をつけてお過ごしください。

令和2年(2020年)いちよう会第17回総会報告

令和2年1月30日(木)午後4時00分から同5時00分まで、東京都臨床検査技師会事務所にて、出席会員数18名で開催。最初に江原会長のあいさつ、引き続き事務局長より2019年の事業報告、瀬川会計担当幹事から会計報告、その後、横山監事によって会計監査報告が行われ、2019年の事業報告を出席会員多数で承認された、2019年行事・同好会報告その他詳細はいちよう会だより13号に掲載いたしましたのでご覧下さい。

- 2020年の事業計画ならびに2020年・21年役員改選に当たり公募したが立候補なく、留任となり下記の方々が承認されました。
- 2020年事業計画としては、1) 会議は三役会1回・幹事会2回開催 2) 予算についても例年と変更なし 3) 行事は ※新年会を1月、※夜桜を見る会を3月予定 ※退職者新入会歓迎パーティー5月を予定 ※秋季旅行(詳細未定) 4) 同好会(ゴルフ同好会)24回(6月予定)25回(秋)予定 5) 特別企画2020年東京オリンピック観戦

(本年の総会にて諸々の事業計画を立案しましたが、2020年の総会と新年会は無事終わりましたが、ご案内のように新型コロナウイルスにより様々な行事・集会が自粛になりいちよう会も予定していましたが諸々の行事も中止・延期をすることになりましたことお報せいたします。※第1回幹事会・夜桜を観る会・24回ゴルフコンペ・オリンピック観戦中止・また退職者新入歓迎会・秋の旅行・25回ゴルフコンペについては今後の収束状況を見ながら三役会を中心に、中止・延期を決めて行きたいと考えております、詳細分かりましたらお報せしたいと思います。

2019年の会員数は74名内、会費納入者73名・新入会員3名桑名房一様・神永貞信様・本多美奈子様であった

『いちよう会』2020年・2021年役員

会 長	江原 和人	前	都立豊島病院	副会長	野本 剛史	前	日本医科大学北総病院
事務局長	松永 義朗	前	関東中央病院	会 計	瀬川真知子	前	NTT 東日本関東病院
幹 事	今西 昭雄	前	慈恵会医科大学病院		後藤 清	前	駿河台日本大学病院
	佐伯かよ子	前	新渡戸文化短期大学		竹重三八男	前	シノテスト株式会社
	滝澤 旭	前	東京電子専門学校		古谷 信滋	前	杏林大学病院
	吉田 陞	前	荏原医師会臨床検査センター				
会計監査	横山 啓介	前	病体生理研究所)				

2019年 行事・同好会の報告

2019年新年会報告

2019年1月31日(木)17時から市ヶ谷駅前さくら水産にて、23名が参加、江原会長の乾杯で開宴となり、久々の再会に飲食も進み和気あいあいのうちに、予定の時間となり野本副会長の締め挨拶と記念の集合写真撮影でお開きとなり、銘々家路へ……

参加者名(敬称略)今西昭雄・江原和人・小川真史・神永教子・後藤 清・佐伯かよ子・司茂幸英・下杉彰男・白取亮三・瀬川真知子・竹重三八男・滝澤 旭・田宮喬行・中川 泉・長島義男・野本剛史・古谷信滋・古木量一郎・松永義朗・箕輪正和・山屋駿一・横山啓介・横山春海) 以上 23名 (松永 記)

2019年夜桜を見る会

2019年3月29日(金)17時から、会場は市ヶ谷駅前の「さくら水産」にて16名の参加で行われました。

参加者名(敬称略):今西昭雄・江原和人・桂川栄一郎・長島義男・野本剛史・古谷信滋・松永義朗・山屋駿一・横山啓介・吉田 陸・吉田聖子・佐野和三・下杉彰男・渋谷千春・中川 泉・瀬川真知子 以上16名 (松永 記)

2019年退職者新入会歓迎パーティー

新入歓迎会が2019年5月30日(木)18時から新宿ワシントンホテルにおいて、2019年新入会員歓迎パーティを開きましたが、新入会員2名(福田 力様・本多美奈子様)所用のため残念ながら欠席となり16名の参加会員で開催となり、江原会長の挨拶に続き、下杉会員の乾杯のご発声で開宴となり、歓談と、カラオケで自慢ののどを披露頂きました。また初参加の正司 房さまより一言スピーチを頂き、和やかな雰囲気の中に予定時間も過ぎ、終わりに野本副会長の締めの挨拶を頂き、参加者全員で記念写真を撮ってお開きとなりました。

参加者名(敬称略):今西昭雄・瀬川真知子・江原和人・後藤 清・滝澤 旭・古谷信慈・下杉彰男・佐伯かよ子・横山啓介・横山春海・山屋駿一・神永教子・野本剛史・本多 正・正司 房・松永義朗 以上16名 (松永 記)

2019年(第22回)ゴルフ同好会コンペ報告

2019年6月7日(金)10時7分スタート 場所 富貴ゴルフ倶楽部 (埼玉県比企郡吉見町)

いちょう会ゴルフ同好会(第22回)ゴルフコンペは富貴ゴルフ倶楽部で4組(13名)がスタートしましたが1R途中で突然の豪雨になり残念ながら中止となりました。23回大会での再会を決めて解散となった。

参加者名(敬称略)箕輪正和・田村 巖・福田 力・片山勝利・尾崎好明・野本剛史・松永義朗・巖田征彦・石塚一宏・後藤 清・竹重三八男・大澤 進・金子 大 以上13名 (石塚 記)

2019年(第23回)ゴルフ同好会コンペ報告

2019年11月1日(金)快晴 総武カントリークラブ印旛コース8時22分INスタート 3組 12名参加
優勝:石塚一宏(グロス94 ハンディ15 NET 79)準優勝:後藤 清(グロス107 ハンディ26 NET 81)
3位:高加国夫(グロス92 ハンディ8 NET 84)

2019年秋季第23回ゴルフコンペは総武カントリー印旛コースでの開催されました、早朝の高速道路で朝日が昇る瞬間に出会い、日の出の周囲が鮮やかなピンク色に染まり、初めて見る朝日に松永さんと感激していました。

最近の私の悩みは逆目のアプローチでトップしたり、ラフったりと距離感が合わずスコアメイクが今一つでした、そこでゴルフ経験豊かな福田さんに相談すると「腰で少し押しイメージでアプローチすれば良い」とアドバイスを受けてスタートしました。悩みが1つ消えた事でドライバーも気持ち良く飛び、16番ホール(パー4)では第2打がピン手前30cmに止まりバーディも決まり満足のラウンドでした。念願のいちょう会ゴルフコンペで初優勝が達成でき大変うれしいです。プロゴルフ界は、4月のマスターズでタイガーウッズプロが14年振りの復活優勝し、7月の全英女子オープンで渋野日向子プロが日本人メジャー初優勝しました。今後も大ファンとして2人の活躍を応援しています。次回のいちょう会ゴルフコンペも多くの方の参加をお待ちしています。(記 石塚)

プレイ後恒例によりお茶とケーキにより表彰パーティーで優勝・準優勝・その他諸々の賞の賞金と副賞贈呈され、その後、恒例の上位入賞者のスピーチですが、今回初優勝の石塚さんは私用があり帰宅していたため優勝者のスピーチは残念ながら聞く事ができませんでした(残念)、準優勝の後藤さんから発言があり7月の参議院議員選挙の結果報告と、

選挙協力のお礼の発言があり、また、小川真史さんから選挙協力への感謝とお礼の言葉がありました。
最後に、次回のハンディキャップを決めて散会し銘々家路へ、また毎回、竹重さん、巖田さんには色々とお世話になります心より感謝致します。ありがとうございます。

参加者名（敬称略）：石塚一宏・後藤 清・高加国夫・竹重三八男・福田 力・小川真史・金子 大・野本剛史・
巖田征彦・松永義朗・長島義男・秦 政行 以上 12名 （松永 記）

2019 年秋の旅行静岡県東伊豆町熱川温泉
（熱川ハイツ伊東園ホテルズ）

2019年11月26日（火）～27日（水）15名参加（内、女性4名）参加者はホテル指定のバスで参加する方と直接、電車で直行する方（2名）とバスは上野発3名～横浜5名（経由）8名でホテルにと新宿発5名、が各々バスに乗り目的地東伊豆町熱川温泉へ、あいにくの空模様で快晴とはなりませんでしたがバスは途中、2か所の所定の休憩場所（トイレ休憩）で停車しながら目的のホテルに3時前後に無事全員到着集合後、チェックインの手続き後、部屋割に沿って各々の部屋に分散し、夕食までの一時、のんびりと温泉に入る人、テレビを見ながら雑談で銘々寛ぎゆったりとした時間を……。その後指定された1時間30分の夕食バイキングでとなりそれぞれ好きな飲み物と食事をとり全員で乾杯し屈託のない話で笑い転げるなか時間となり、次の予約のカラオケタイムで指定のカラオケルームへ移動し全員、それぞれ持ち歌を披露し大いに盛り上がったところでお時間となり終了……。次のプログラムは幹事部屋でのナイトセミナーで事前に買い出しで準備した、飲み物とおつまみでフリートークキングで笑い転げ、あっという間に時間も過ぎ深夜になったためお開きとなった。

2日目は朝食後、全員で集合写真を撮り、現地解散となり銘々家路へ……。2019年の2日間の思い出の旅となった。
参加者（敬称略）；佐伯かよ子・瀬川真知子・渋谷千春・横山春海・古谷信滋・齋藤貞夫・秦 政行・横山啓介・後藤 清・竹重三八男・田中一吉・江原和人・中川 泉・野本剛史・松永義朗 以上 15名 （松永 記）

2019 年会計報告 2019年1月1日～12月31日

収入の部

項目	金額	適 要
前年繰越金	42,519	2018年よりの繰越金
2019年会費	73,000	年会費1,000円×73名
新入会歓迎参加費	102,000	参加費6,000*17名
雑収入	744	納涼会残金
合 計	218,263	

支出の部

項目	金額	適 要
事業費	87,890	歓迎会費用(ワシントンホテル)支払
通信費	30,766	切手・ハガキ代、郵送料・通信費など
会議費	29,330	三役会1回・幹事会2回の交通費など
事務消耗品費	8,575	インクカートリッジ・用紙・封筒など事務用品
事務振込手数料	5,080	郵便口座手数料
次年繰越金	56,622	現金11,048+郵便振替口座残高45,574
合 計	218,263	

2019 年「いちよう会」会計監査報告

2020年1月30日、会計帳簿および領収書等監査した結果適正に処理されていたのでご報告いたします。

2020年1月30日 会計監査 横山 啓介 ㊟ 捺印省略

【その他】

★ 2019年7月当会会員の小川真史さまが参議院議員選挙に立候補し戦いましたが一歩およばず残念な結果となりました、いちよう会として多数の方々の応援・選挙協力を頂いたことに心より感謝申し上げます。

この2月に発生した新型コロナウイルス感染の爆発的な広がり、昨年の台風19号によるゲリラ豪雨による災害、9年前の東日本大震災と、自然の猛威は留まるところを知らない。2020東京オリンピック・パラリンピック開催は1年の延期を余儀なくされた。東京オリンピック大会ボランティアに登録した私は、昨年の共通研修を終え、この3月に活動内容がアテンド（海外からの要人の案内）、配置が羽田空港に決まり、配属先研修に入る矢先であった。一日も早い新型コロナウイルス感染の終止符に期待し、人生2度目となる東京オリンピック開催を楽しみに待ちたい。

さて、昨年12月に「そなエリア東京と東京港」見学の機会を得た。東京港見学では、台場や豊洲、建築中の選手村宿泊施設、海の森中央防波堤などを見ることができた。ここでは、「そなエリア」での防災体験を通し、昨今話題となっている首都直下地震や南海トラフに言及してみたい。折しもNHK総合TVで体感首都直下地震をテーマにした防災の備えや心構え、生き残るためにはどうしたらよいかなど生々しいドラマ仕立てで放映された時期と見学が重なった。

「そなエリア」は、東日本大震災後に国の災害応急対策の拠点として整備され、東京臨海広域防災公園内にあり、東京港有明の船着き場にも近い、防災体験学習施設である。今回、「東京直下72h ツアー」に参加し、地震発生から72時間どう生きるかを学んだ。

エレベータ時の対応、仮想震災現場での対処、防災の備え、防災備品、食料品の備蓄、避難場所の生活、地震体験モデル、映像による地震の状況、対策本部のオペレーション施設の見学など、多くの防災に関わる知識を学ぶことができた。防災は身近な問題として常日頃から備え、準備する必要性を強く感じた。

現在、日本は今後様々な地震発生が予想される。日本列島において、とりわけ首都直下地震と南海トラフ巨大地震のリスクに直面している。首都直下地震の被害想定では、最大震度7で最大2万3千人が死亡。経済被害は国の予算約95兆円に及ぶ。帰宅困難者は800万、受け入れ先の確保が大きな問題となっている。南海トラフ巨大地震の発生も今後30年で70～80%確率を見込む。震度6弱～7の揺れが東海から九州までを襲い、東日本大震災を上回る被害が出る可能性がある。被害想定では死者は最大32万人、経済被害は220兆円に及ぶ。

政府は大規模災害に備える司令塔機能を首相官邸に集約し、新会議を2021年度にも新設する予定だ。内閣府防災対応人員も増やし、平時から危機管理体制を充実させ、将来を見据えた南海トラフ地震などに備えるという。

政府には「予断を持たずに最悪の被害を想定すべきだ」と提言したい。いずれにせよ、インフラ寸断による日頃からの水や食料、日用品などの備蓄対策、国や自治体の救助や支援といった「公助」に加え、主体的な避難行動などの「自助」、近隣で助け合う「共助」も欠かせない。常日頃からの防災意識を念頭に、自然に向き合い、自然と共生する心構えが必要だ。その上での備えあれば憂いなしか。



2019年11月 伊豆熱川温泉



2019年5月 新入会員歓迎会

※ お願い2020年いちょう会 会費未納の方へ

2020年5月1日現在、2020年度会費1,000円未納の方には今回、いちょう会だより第13号発送と一緒に振込み用紙を同封いたしますので納入方よろしくお願いたします。

★もろもろの連絡先：松永義朗 090-9953-6691 江原和人 090-2218-8362

2019年 いちょう会 活動スナップ写真



2019年1月 新年会



2019年3月 お花見会



2019年5月 新入会員歓迎会



2019年6月第22回ゴルフコンペ



2019年11月伊豆熱川温泉



2019年11月第23回ゴルフコンペ